

学校目標 「いのち ころも なかま」

—豊かな心と確かな学力を身につけた、たくましい子どもの育成—

- (1) 本校が大切にしてきたなかまづくりを通して、豊かな心（強く、しなやかな心）を育て、自他のいのち・人権を尊重する態度を育成する。
- (2) 目的意識、主体的に学ぼうとする姿勢を大切に、基礎・基本的な知識・技能の習得を図り、体験活動・話し合い活動を通して、思考・判断・表現力を育成する。
- (3) 自分の体や運動・食習慣について常にふりかえり、生涯にわたって健康な生活を送れる力を育成する。
- (4) 業務改善やワークライフバランスの推進に努め、効率がよく働きやすい職場環境づくりを推進する。

本年度の努力点

- (1-1) 「人を人として大切にする」を合い言葉に人権感覚・人権意識を高めるとともに、西麻植ならではの人権教育を推進し、自分事として差別解消に向かう実践力を養う。
- (1-2) 全教職員で児童に関する情報を共有し、家庭や地域、関係機関と連携を密にした個別支援・指導を実施するとともに、常に「子どものために」「子どもにとって」という視点から教育活動を見直す。
- (2-1) ユニバーサルデザインに基づく教室環境を整備し、子どもが学びやすい環境を整えるとともに、言語活動の充実や「家庭学習の手引き」「体験カード」の活用を図り、主体的に学ぶ態度を育てる。
- (2-2) 教職員の授業力の向上を図るため、ICTの活用、外国語等の指導方法、子ども理解についての研修を充実させ、主体的・対話的で深い学びを具現化する。
- (3-1) 異学年班活動を中心とした子ども同士のつながりを深め、自発的に動き・遊ぶ活動を通して、自分に応じた体力の向上を図る。
- (3-2) 早寝・早起き・朝ご飯とあいさつ習慣の定着を中心に、基本的な生活習慣の確立を推進する。

学校評価の実施方法

【参考】文部科学省学校評価「学校評価ガイドライン〔改訂〕」の概要 学校評価の実施手法

